

オンラインでも参加できます
Zoomでのオンライン参加もできますので
下記QRコードから開催時間
までにログインしてご参加
ください。(事前申込は不要)

第29回 錦江町まちづくり町民講座
未来づくり専門員
活動報告会を開催します

新型コロナ対策をお願いします
当日は、マスク着用と入口での手指
消毒など感染予防にご協力くださ
い。37.5度以上の発熱や体調不良
の場合は参加を控えてください。

6.23 [水] 18:30 スタート

第29回 錦江町まちづくり町民講座

錦江町では4月1日より5名の新任未来づくり専門員(地域おこし協力隊)が活動しています。今回は、活動する中で感じたことや今後の取り組みについて「皆さんと共有したい」と企画しました。それぞれの活動を知っていただき、応援していただければ嬉しいです。ぜひご参加ください。

日時 ▶ 6月23日(水)
18:30 ~ 20:00



会場 ▶ 錦江町役場 2階会議室

「未来づくり専門員」▶ 錦江町では地域課題解決に向けてテーマを設定し、未来づくり専門員として委嘱しています。意欲のある都市住民の感覚と、新たに吹き込む風を地域活性化への起爆剤として取り組んでいます。
※報告時間は1人あたり15分程度です



今井 泰子 専門員



伊藤 愛 専門員



友安 麻里亜 専門員

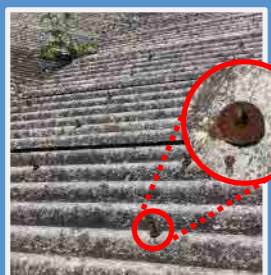


吉屋 和鼓 専門員



若泉 誠 専門員

スレート小屋の修繕・補修をしなければ、
大事故・大出費につながります!



フックの耐用年数は25年!

長年放置すると・・・
フックがさびて、下地やスレートとの隙間ができてきます。

- ・強風で飛んで、周辺への被害発生(人・家・車など)
- ・うっかり乗って、割れて墜落事故(大けが、死亡事故)
- ・割れが生じて雨漏り。さらに下地(C鋼、鉄骨)がさびて、建物寿命が短命に。

ご相談ください!!
鉄のことなら、久徳鉄工所(根占山本 4137)
電話: 24-3645
携帯: 080-5210-8680(雪丸)



錦江町商工会 経営支援員 募集

地域の商工業者の経営のお手伝いや街おこし等、やりがいのある仕事です!

勤務場所▶ 錦江町商工会 採用予定人数▶ 1名

採用予定日▶ 令和3年9月1日(予定)

労働条件▶ 基本給142,000円~160,500円/正社員/昇給有り/扶養、住居、通勤手当有り/賞与有り*年2回/社会保険加入有り/退職基金制度有り
就業時間▶ 8時30分~17時15分(休憩45分)
・週休2日制、休日(土日祝)

応募資格▶ 高等学校卒以上/令和3年4月1日現在で39歳以下/簿記3級以上(採用予定日までの取得見込可)/普通1種免許(AT限定可)

応募期日と応募方法▶ 令和3年6月28日(月) 必着履歴書を鹿児島県商工会連合会へ送付して下さい。書類選考後、試験日時等の詳細を連絡します。

一次試験▶ 令和3年7月3日(土) 9:00~
(鹿児島県産業会館にて実施予定)

書類送付先・連絡先

〒892-0821 鹿児島市名山町9番1号 6F
鹿児島県商工会連合会 総務課(担当:中島・下野)
☎099-226-3773

5月21日には除草作業を行って準備を進めてきました。「色鮮やかな花を見ていると明るい気持ちになる」と会話を楽しみながら手際よく植え付けた参加者の皆さん。



10種類 1,000本の花を植栽 花いっぱいボランティア

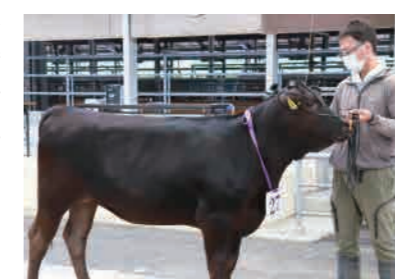
5月29日、花植えボランティアグループ約50名が国道269号線沿いの花壇にマリーゴールドやトレニアなど、10種類1,000本以上の花苗を植栽しました。自分たちの地域に愛着を持ってほしいと昨年からはまったこの活動の代表を務める谷口悦郎さんは、「訪れる人々をたくさんの花で迎えたい。この取り組みが町内で広がることで地域の魅力発信に繋がれば」と期待を寄せました。

2年ぶりの開催となった地区春季共進会 西元裕樹さんの「つばき号」1席

昨年は新型コロナの影響で中止となり、2年ぶりとなった肝属地区春季畜産共進会。5月14日に鹿屋市で行われ、若雌2部で西元裕樹さんのつばき号が1席、若雌1部で福永四男さんのひかる号が2席に輝きました。



写真上▶ 若雌2部で25頭の出品から1席に選ばれた西元裕樹さんのつばき号/写真右▶ 若雌1部で31頭の出品から2席に選ばれた福永四男さんのひかる号



※撮影時のみマスクを外している場合があります

子どもや高齢者といった年齢で区別せず、さまざまな年代が食を通じて交流できる食堂。地域の方から旬の野菜提供も多いそうです。



多様な価値観を生み出す場づくり 2年目を迎えた田代子ども食堂

地域との交流拠点を目指す「田代子ども食堂」が今年5月で2年目を迎えました。子どもたちの居場所づくり、お年寄りにとっては生きがいづくりを目的に田代学童クラブを拠点に毎月開催。子ども食堂を運営する林正美さんは、「多世代交流を通して地域で子どもたちを見守り、育てる場になれば」と活動に期待を込めました。

Kinko Town Pickup Photonews